

令和2年度就職氷河期世代の活躍支援に向けた鹿児島県の主な取り組み（実績）

就職氷河期世代支援就労促進・定着事業の実施

（1）相談体制の拡充

- ・地域若者サポートステーションの受託機関に、相談から就労までの支援を一貫して行う就職氷河期世代専任の職員（相談指導員1名、相談指導員（臨時職員）2名、就労コーディネーター1名）を新たに設置。

（実績）

- ・相談件数 : 512件
（来所相談） : 290件
（電話相談） : 180件
（訪問相談） : 42件

（2）就職氷河期世代専任職員による一貫した支援の実施

- ①キャリアコンサルタント等による専門的な相談
- ②職業適性検査、面接対応等の就労準備サポート
- ③職場見学→カントリーワーク→体験就労
- ④求職活動への支援、就労後の準備サポート

（実績）

- ①求職活動者数
 - ・職場見学・就労体験 : 35名
 - ・企業への応募（面接・応募書類の送付等） : 22名
 - ・職業適性検査 : 12名
- ②就職等進路決定人数 : 21名
（うち就職21名）

就職氷河期世代市町村就労支援事業の実施

（1）市町村への補助金交付

- ・地域就職氷河期世代支援加速化交付金を、県補助金として鹿児島市へ交付。

（実績）

- ・鹿児島市の雇用・就業に関するアンケート調査（別添のとおり）

※詳細版は鹿児島市ホームページをご確認ください。

鹿児島市の雇用・就業に関するアンケート調査結果報告書 ＜概要版＞

令和3年3月 鹿児島市

I. 調査の概要

1. 調査の目的

就職氷河期に就職の機会を逃した事等により、不本意ながら非正規で働く者や長期無業者、社会参加にむけてより丁寧な支援を必要とする者などの職業に関する意識や正規雇用化への課題を明らかにするとともに、今後の施策展開の基礎資料とするためアンケート調査を実施した。

2. 調査方法

調査区域：鹿児島市内全域

調査対象：令和2年4月1日時点で34歳から49歳までの市民（無作為抽出）

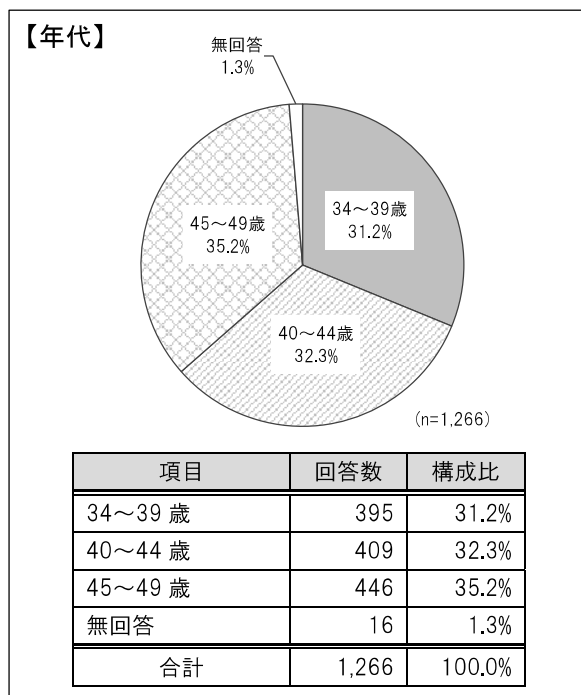
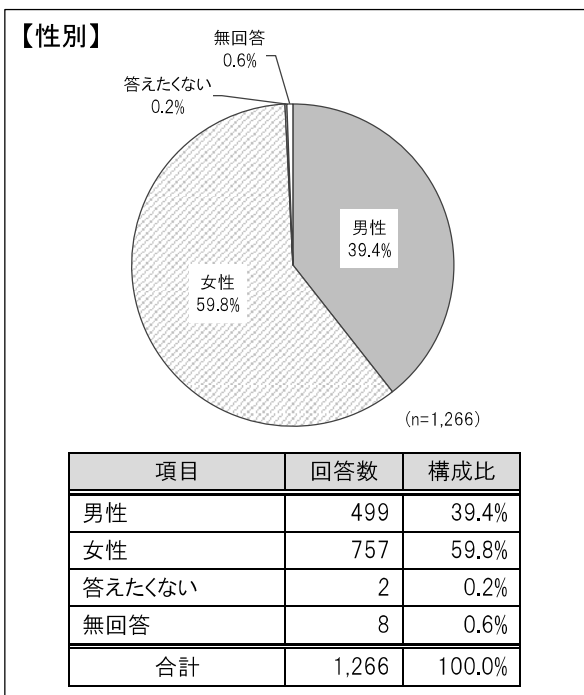
調査方法：郵送による配布及び郵送またはWEB方式による回収

調査期間：令和2年12月1日（火）～令和2年12月21日（月）

回収結果：

配布数	回答方法	有効回答数	回収率
3,000人	郵送	700人	23.3%
	WEB	566人	18.9%
合計		1,266人	42.2%

3. 回答者の属性



Ⅱ. 調査結果の概要

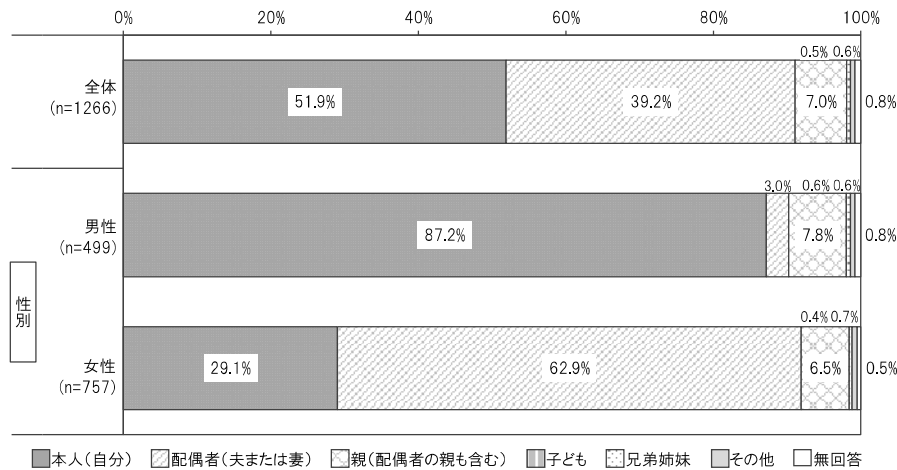
1. 回答者自身のことについて

(1) 主たる生計維持者

設問：あなたの家庭で、主たる生計を維持しているのはどなたですか。【1つに〇】

全体でみると、「本人（自分）」が51.9%と最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」が39.2%、「親（配偶者の親も含む）」が7.0%となっている。

性別でみると、男性では「本人（自分）」が87.2%と最も高く、女性では「配偶者（夫または妻）」が62.9%と最も高くなっている。



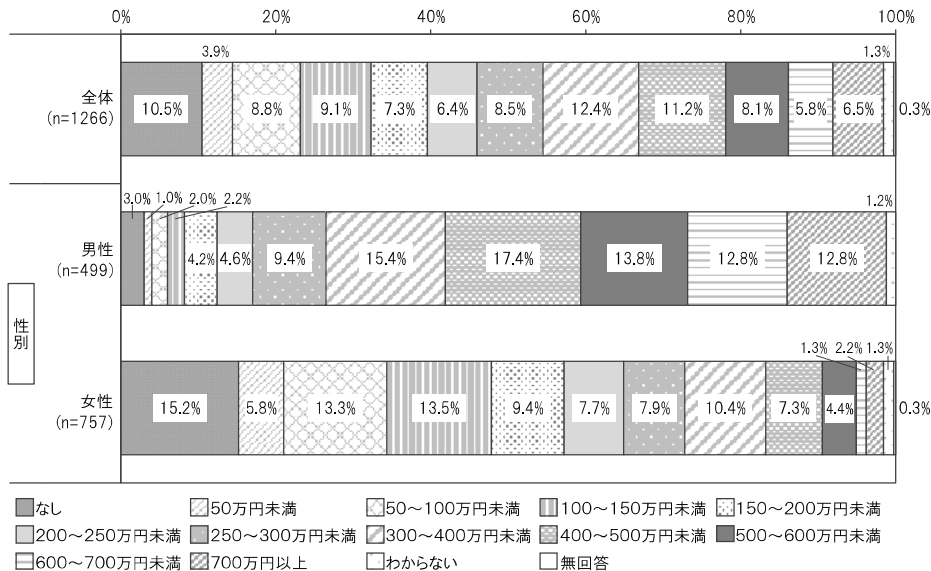
(2) 自身の年間収入

設問：昨年の、あなたご自身の年間収入（税込み、仕事による収入と仕事外の収入の合計）はおおよそどれくらいですか。【1つに〇】

※社会保険料や税金などが控除される前の総収入額をお答えください。

全体でみると、「300～400万円未満」が12.4%と最も高く、次いで「400～500万円未満」が11.2%、「なし」が10.5%となっている。

性別でみると、男性では「400～500万円未満」が17.4%と最も高く、次いで「300～400万円未満」が15.4%、「500～600万円未満」が13.8%となっている一方、女性では「なし」が15.2%と最も高く、次いで「100～150万円未満」が13.5%、「50～100万円未満」が13.3%となっている。



2. 就労の状況について

(1) 現在の就業形態

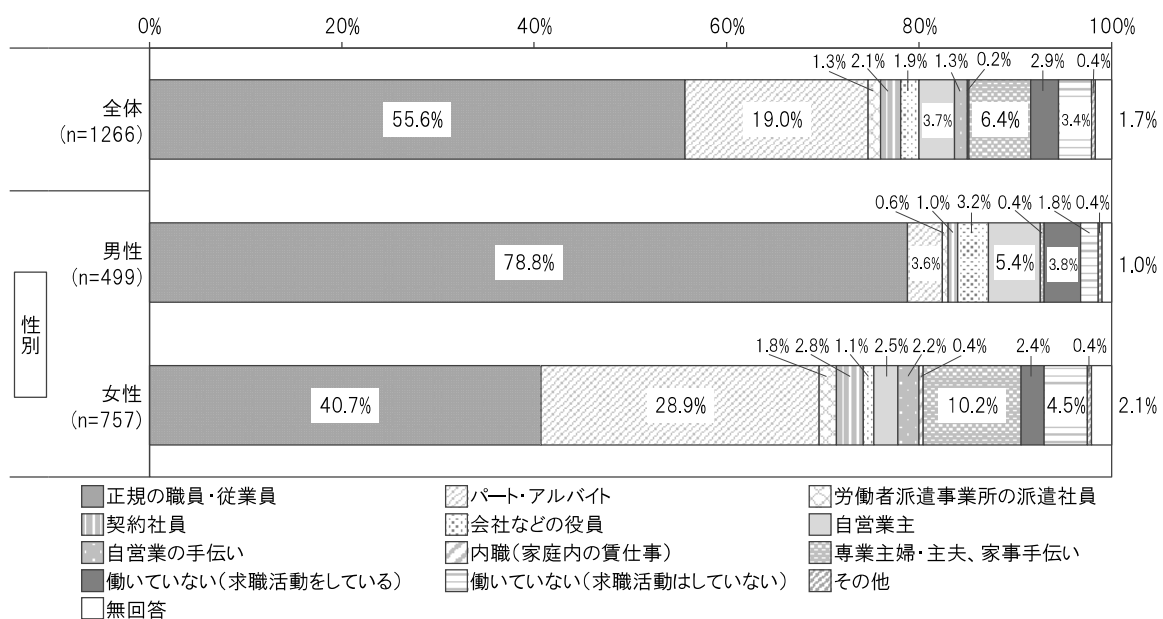
設問：あなたの現在の就業形態はどれにあたりますか。【1つに〇】

※複数の仕事をしている場合は、主なものについてご回答ください。

育児休業等で仕事を休んでいる場合は、休む前の仕事についてご回答ください。

全体でみると、「正規の職員・従業員」が55.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が19.0%、「専業主婦・主夫、家事手伝い」が6.4%となっている。

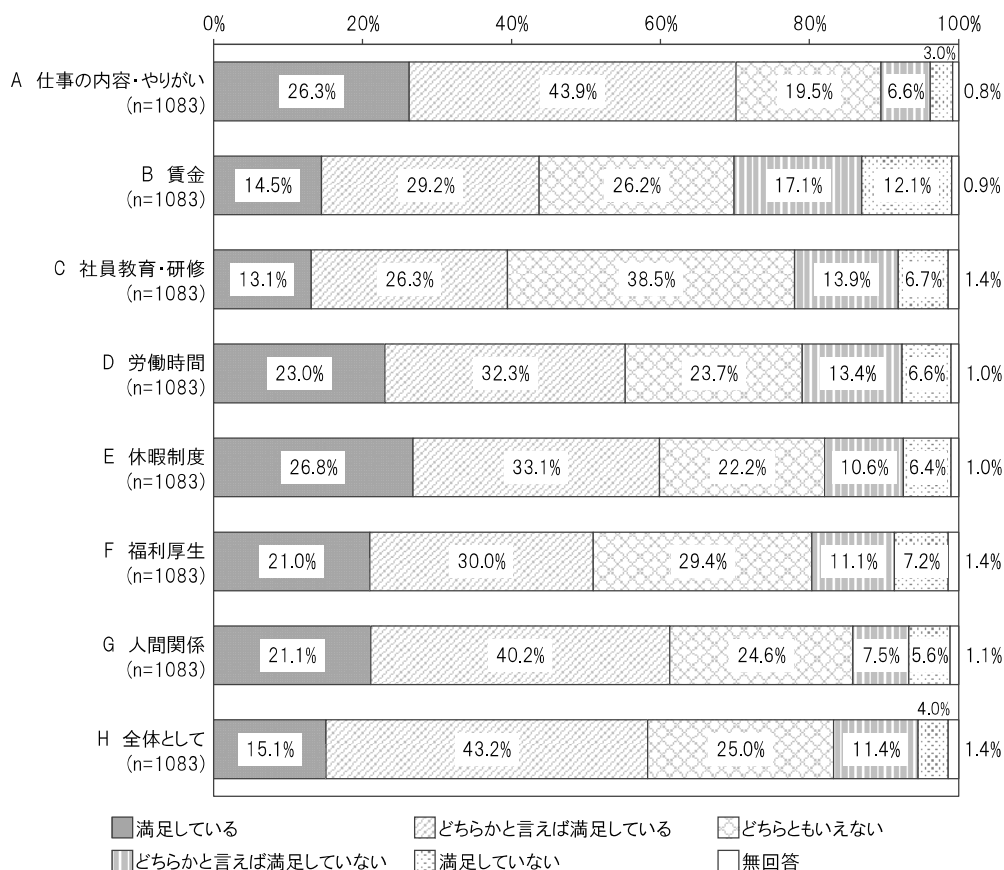
性別でみると、男女ともに「正規の職員・従業員」が最も高く、男性が78.8%、女性が40.7%となっており、男性が女性を38.1ポイント上回っている。男性では、次いで「自営業主」、「働いていない（求職活動をしている）」となっている。女性では、次いで「パート・アルバイト」、「専業主婦・主夫、家事手伝い」となっている。



(2) 現在の仕事の満足度

設問：現在の仕事の満足度について教えてください。【それぞれ1つに○】

項目別でみると、「A 仕事の内容・やりがい」では「満足している（満足している+どちらかと言えば満足している）」が70.2%となっている。「B 賃金」では「満足していない（満足していない+どちらかと言えば満足していない）」が約3割、「C 社員教育・研修」では「どちらともいえない」が約4割となっている。「H 全体として」では「満足している（満足している+どちらかと言えば満足している）」が約6割となっている。

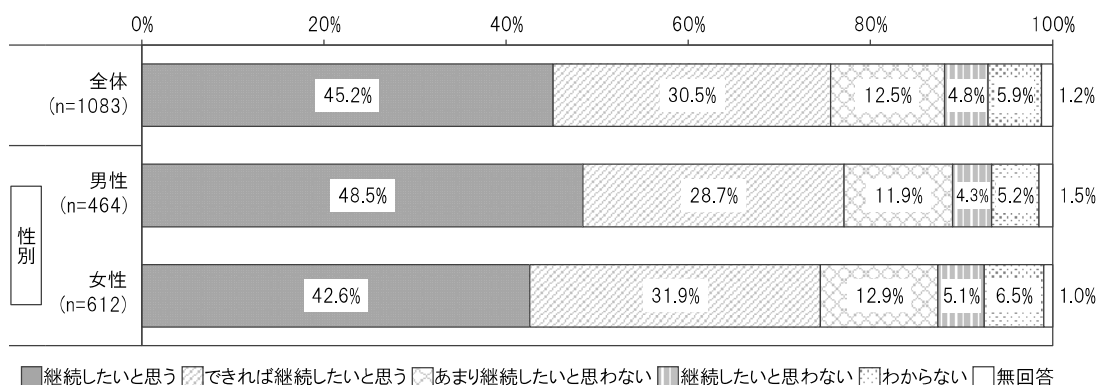


(3) 現在の仕事の継続希望

設問：現在の仕事の継続希望について教えてください。【1つに○】

全体でみると、「継続したいと思う」が45.2%と最も高く、次いで「できれば継続したいと思う」が30.5%、「あまり継続したいと思わない」が12.5%となっている。

性別でみると、男女ともに「継続したいと思う」が最も高く、男性では48.5%、女性では42.6%となっている。



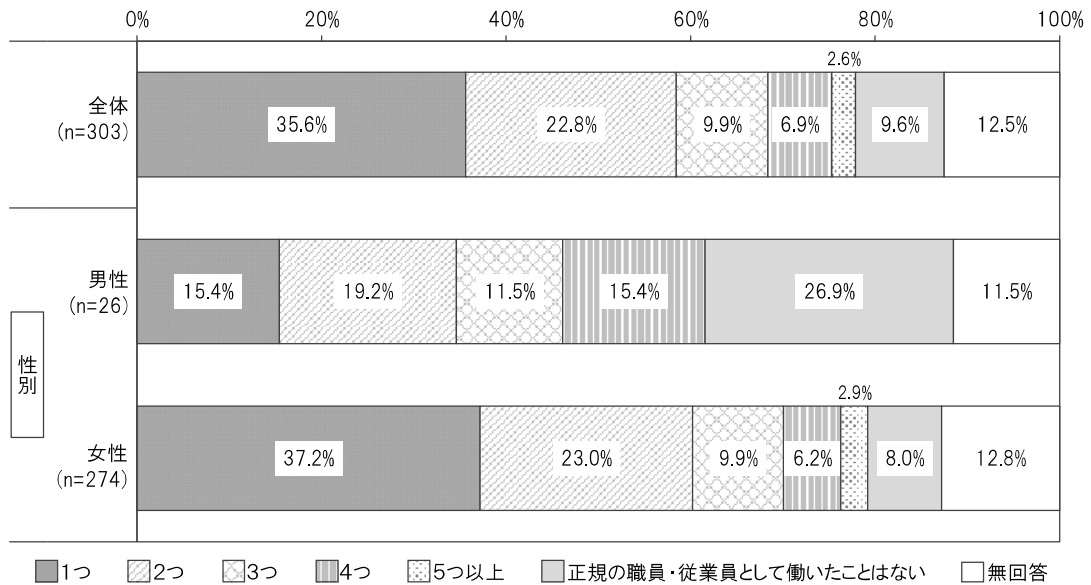
3. 非正規雇用者の方について

(1) 正規の職員・従業員として働いた経験数

設問：これまで正規の職員・従業員としていくつの職場で働いたことがありますか。【1つに○】

全体でみると、「1つ」が35.6%と最も高く、次いで「2つ」が22.8%、「3つ」が9.9%となっている。

性別でみると、男性では「正規の職員・従業員として働いたことはない」が26.9%と最も高く、女性では「1つ」が37.2%と最も高くなっている。

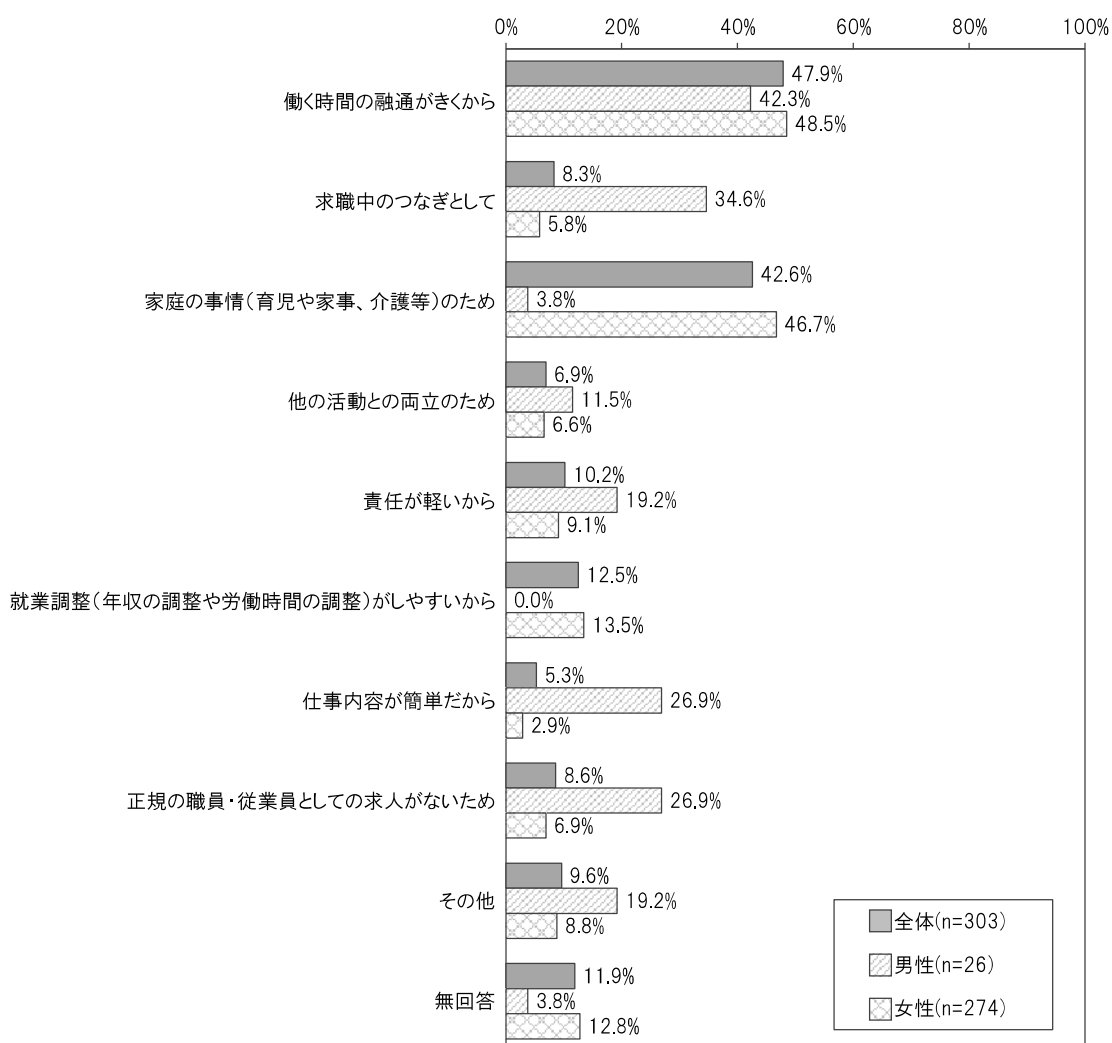


(2) 現在の就業形態について理由

設問：現在の就業形態について理由は何ですか。【いくつでも○】

全体で見ると、「働く時間の融通がきくから」が47.9%と最も高く、次いで「家庭の事情（育児や家事、介護等）のため」が42.6%、「就業調整（年収の調整や労働時間の調整）がしやすいから」が12.5%となっている。

性別で見ると、男女ともに「働く時間の融通がきくから」が最も高く、男性では42.3%、女性では48.5%となっている。女性では、次いで「家庭の事情（育児や家事、介護等）のため」も46.7%と高くなっている。また、男性では、次いで「求職中のつなぎとして」が34.6%、「仕事内容が簡単だから」、「正規の職員・従業員としての求人がないため」がそれぞれ26.9%となっている。

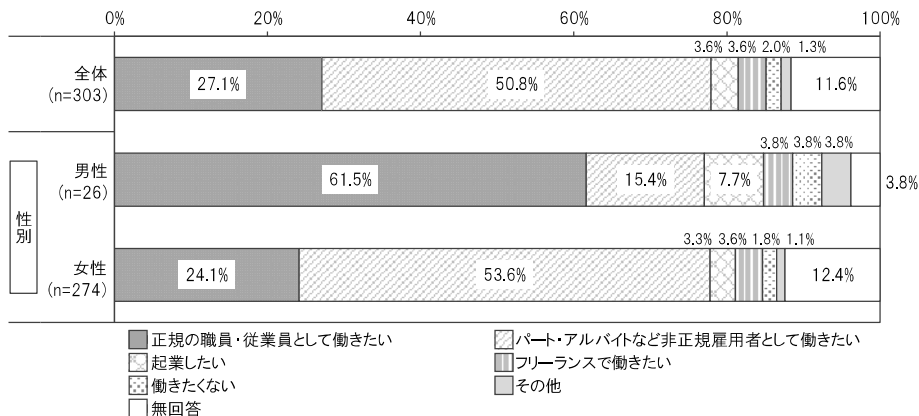


(3) 今後の就労意向

設問：今後の就労意向について教えてください。【1つに〇】

全体でみると、「パート・アルバイトなど非正規雇用者として働きたい」が50.8%と最も高く、次いで「正規の職員・従業員として働きたい」が27.1%、「起業したい」、「フリーランスで働きたい」がそれぞれ3.6%となっている。

性別でみると、男性では「正規の職員・従業員として働きたい」が61.5%と最も高くなっている一方、女性では「パート・アルバイトなど非正規雇用者として働きたい」が53.6%と最も高くなっている。

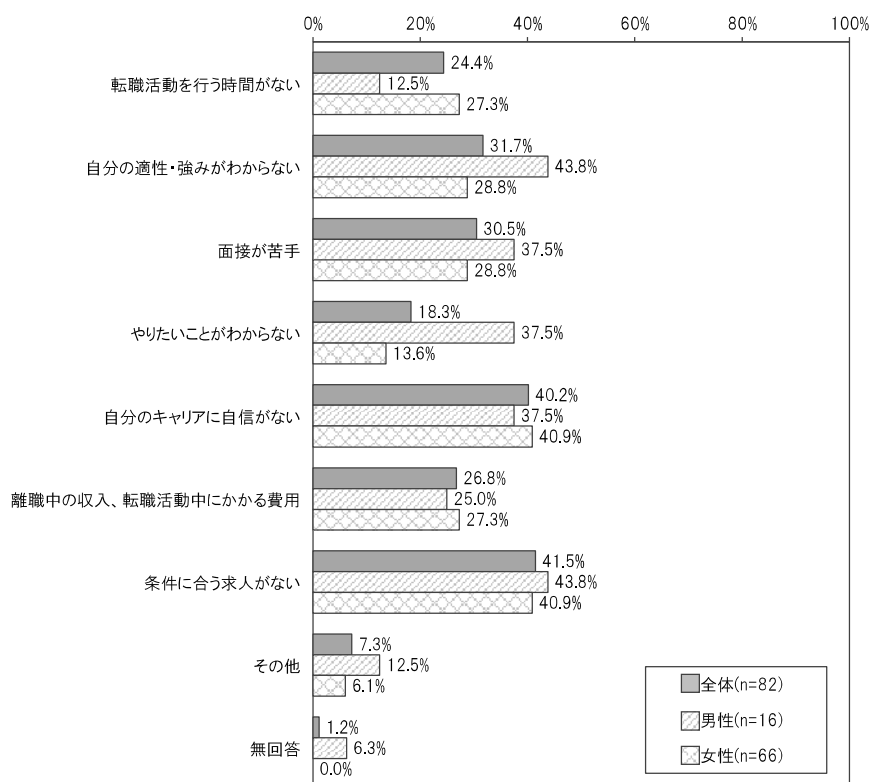


(4) 転職を行うにあたっての課題

設問：転職を行うにあたっての課題は何ですか。【いくつでも〇】

全体でみると、「条件に合う求人がない」が41.5%と最も高く、次いで「自分のキャリアに自信がない」が40.2%、「自分の適性・強みがわからない」が31.7%となっている。

性別でみると、男女ともに「条件に合う求人がない」が4割を超えている。「やりたいことがわからない」は男性では37.5%、女性では13.6%となっており、男性が女性を23.9ポイント上回っている。また、「自分の適性・強みがわからない」は男性では43.8%、女性では28.8%となっており、男性が女性を15ポイント上回っている。



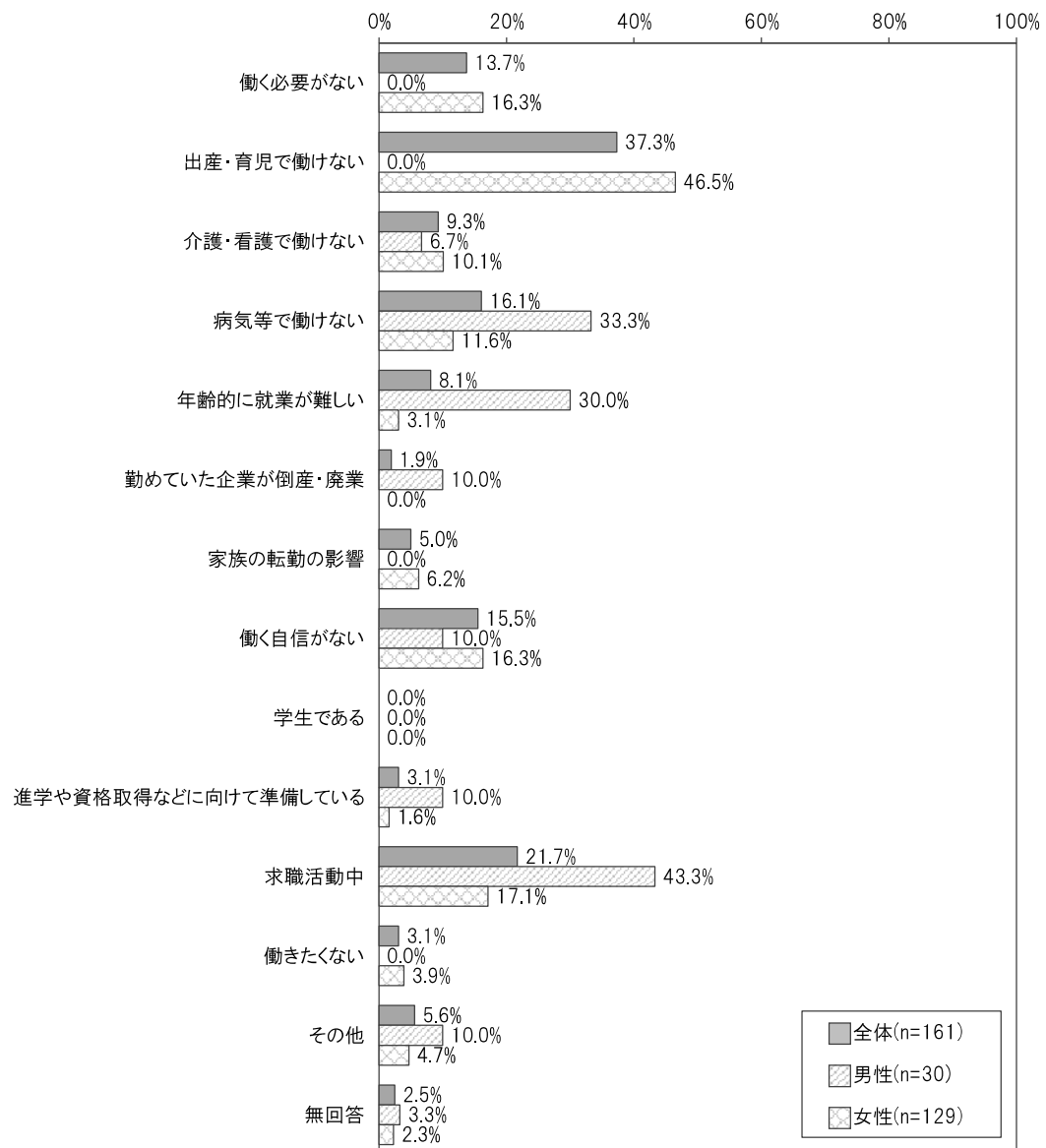
4. 現在就労していない方について

(1) 現在働いていない理由

設問：現在働いていない理由は何ですか。【いくつでも〇】

全体で見ると、「出産・育児で働けない」が37.3%と最も高く、次いで「求職活動中」が21.7%、「病気等で働けない」が16.1%となっている。

性別で見ると、男性では「求職活動中」が43.3%と最も高くなっている。女性では「出産・育児で働けない」が46.5%と最も高くなっている。

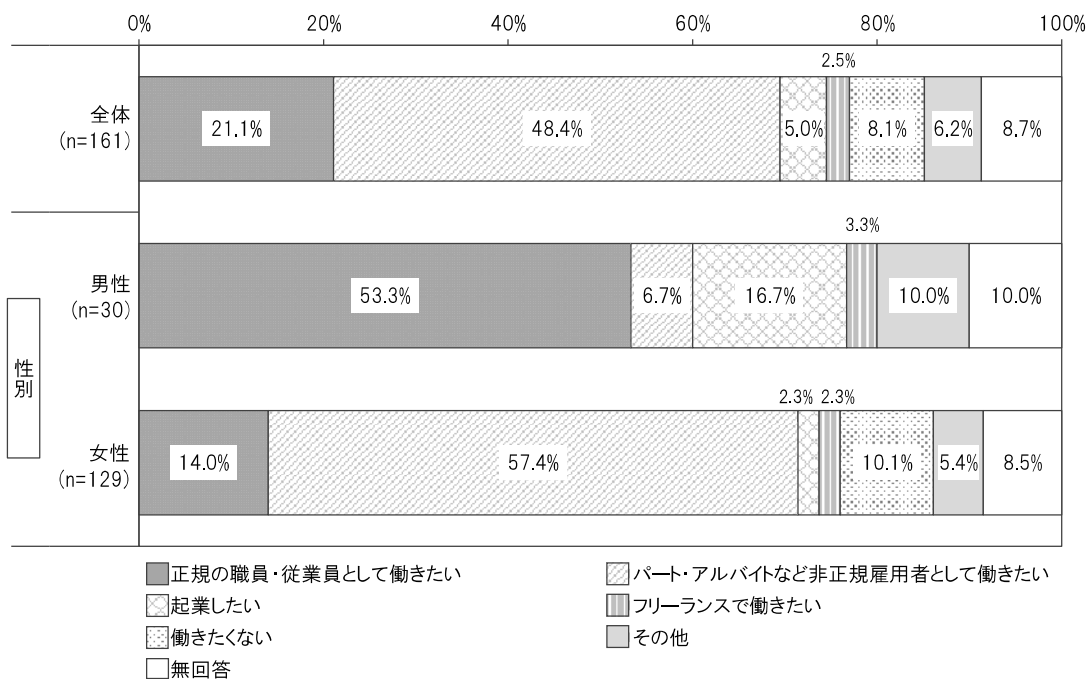


(2) 今後の就労意向

設問：今後の就労意向について教えてください。【1つに〇】

全体で見ると、「パート・アルバイトなど非正規雇用者として働きたい」が48.4%と最も高く、次いで「正規の職員・従業員として働きたい」が21.1%、「働きたくない」が8.1%となっている。

性別で見ると、男性では「正規の職員・従業員として働きたい」が最も高く、半数を超えており、女性では「パート・アルバイトなど非正規雇用者として働きたい」が最も高く、約6割となっている。

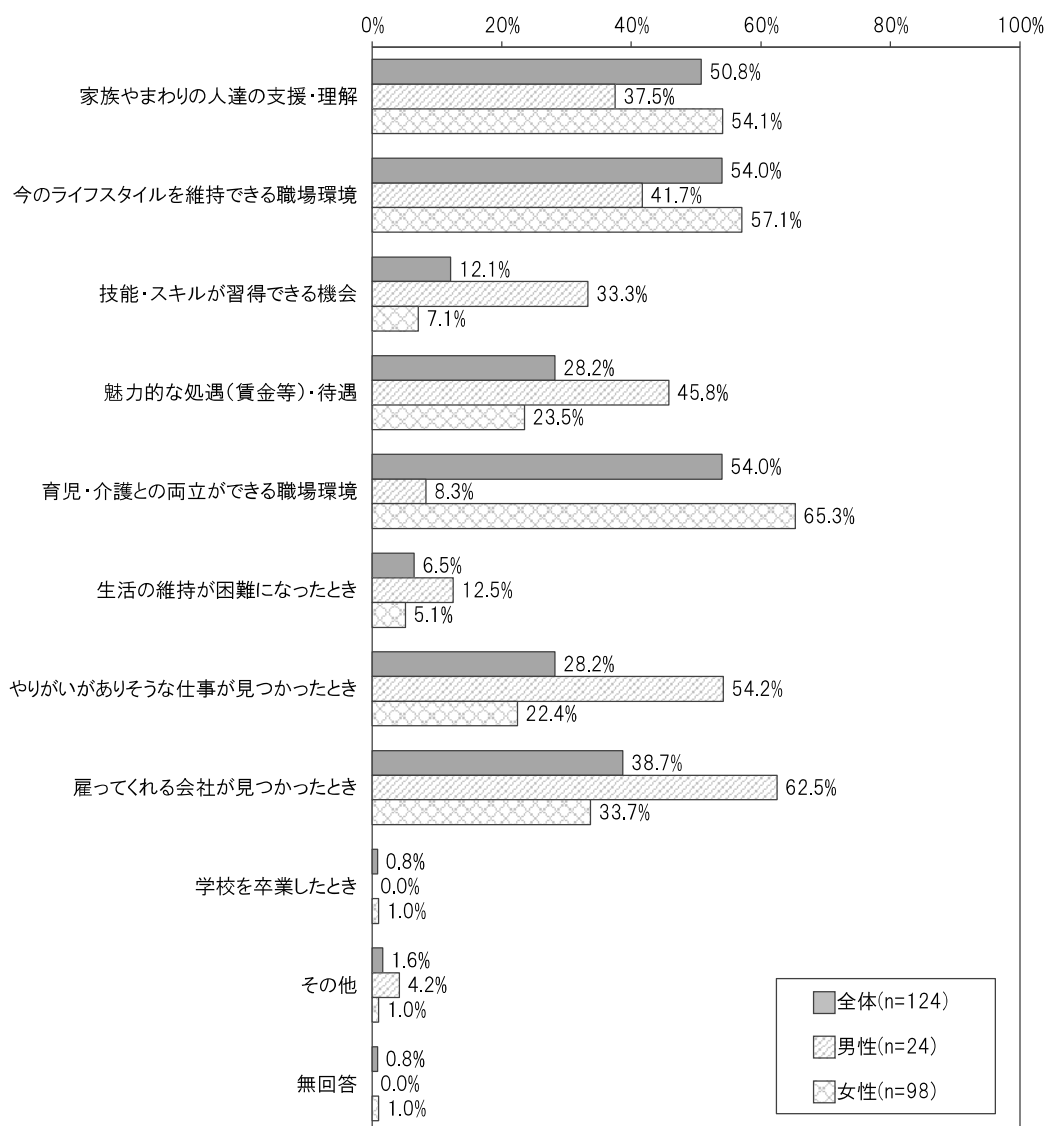


(3) 働くために必要な状況

設問：どのような状況があれば働けますか。【いくつでも〇】

全体でみると、「今のライフスタイルを維持できる職場環境」、「育児・介護との両立ができる職場環境」がそれぞれ54.0%と最も高く、次いで「家族やまわりの人達の支援・理解」が50.8%となっている。

性別でみると、男性では「雇ってくれる会社が見つかったとき」が最も高く、62.5%となっている。女性では「育児・介護との両立ができる職場環境」が65.3%と男性と比較して顕著に高くなっている。



5. 現在の状況について

(1) 現在の不安

設問：あなたが現在不安に思っていることは何ですか。【いくつでも〇】

全体で見ると、「現在の収入や資産」が52.3%と最も高く、次いで「自分の老後の生活設計」が50.0%、「親の健康・介護」が44.6%となっている。

性別で見ると、男性では「現在の収入や資産」が56.9%と最も高く、女性では「自分の老後の生活設計」が51.9%と最も高くなっている。

